

CBD mimics の検討， MDS 進行性核上性麻痺診断基準（MDS PSP diagnostic criteria） 日本語版の作成

研究分担者 下畑享良 岐阜大学大学院医学系研究科神経内科・老年学分野教授

研究要旨

病理学的に診断された CBD mimics 32 症例を集積し，その症年齢，罹病期間，病理診断について確認を行い，各施設に詳細な情報の提供を依頼した．また MDS PSP diagnostic criteria は日本語化を行った．

A.研究目的

タウオパチーである進行性核上性麻痺（PSP），大脳皮質基底核変性症（CBD）は，近年，多彩な臨床像を呈しうること，各々に類似した臨床像を呈する mimics の存在が明らかになった．私は，CBD mimics の臨床・病理像の解析とそれに基づく新診断基準の提唱，MDS PSP criteria の日本語化を目指している．

B.研究方法

は病理学的に診断された CBD mimics 32 症例を集積し，発症年齢，罹病期間，病理診断についての検討を行った．は昨年度，行った用語についてアンケート調査等を参考に日本語訳を完成させ，さらに back translation を行った．

（倫理面への配慮）

各施設において倫理審査を行った．

C.研究結果

は発症年齢は 65.5 ± 10.5 歳，罹病期間は 7.7 ± 3.1 年であった．病理診断は PSP が 37%で，アルツハイマー病が 20%，globular glial tauopathy が 7%で，その他，レビー小体型認知症，Pick 病，FTLD-TDP/FUS，プリオン病を認めた．今後，これらの症例の臨床・画像的特徴の解析を進める予定

である．は日本語訳，back translation を完成させ，原著執筆者による内容の確認を依頼した．

D.考察

本邦では CBD mimics として PSP，アルツハイマー病が多いことが分かった．アルツハイマー病と CBD の鑑別はとくに難しいとする既報があり，生前，両者をどう鑑別するかの検討が必要である．

E.結論

CBD mimics 32 症例を集積した．また MDS PSP diagnostic criteria の日本語化，back translation を行った．

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

論文発表

下畑享良：神経内科 Clinical Questions & Pearls パーキンソン病 2019.1.1，中外医学社学会発表

Shimohata T et al. Background pathology of 'corticobasal degeneration (CBD) mimics'-Japanese validation study of CBD (J-VAC study)

H.知的所有権の取得状況（予定を含む）

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし